

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公開番号】特開2018-64811(P2018-64811A)

【公開日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2016-206065(P2016-206065)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月10日 (2018.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を発射して遊技領域に打込むことにより、変動表示を用いる遊技が実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機において、

前記遊技領域は、遊技媒体が流下可能な経路として、遊技媒体の打分けが可能な第 1 経路と第 2 経路とを含み、

少なくとも通常状態においては前記第 1 経路を遊技媒体が流下した方が有利に構成され、

少なくとも前記有利状態と、前記通常状態および前記有利状態とは異なる特定状態において、前記第 2 経路を遊技媒体が流下した方が前記第 1 経路を遊技媒体が流下したときよりも遊技者にとって有利な状態に制御する状態制御手段と、

前記第 2 経路への遊技媒体の打込みを促進させることが可能な促進報知を行なう促進報知手段とを備え、

前記促進報知手段は、前記有利状態において前記促進報知を行なうとともに、当該有利状態の終了後に実行される変動表示が前記特定状態に制御可能な表示結果となる変動表示であるときには当該有利状態が終了したときから前記促進報知を行ない、

前記促進報知手段が前記促進報知を行なうことに関連して、当該促進報知を実行していることを特定可能な特定信号を作成する特定信号作成手段をさらに備える遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(手段 A) 上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、遊技媒体を発射して遊技領域に打込むことにより、変動表示を用いる遊技が実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機において、前記遊技領域は、遊技媒体が流下可能な経路として、遊技媒体の打分けが可能な第 1 経路と第 2 経路とを含み、少なくとも通常状態においては前記第 1 経路を遊技媒体が流下した方が有利に構成され、少なくとも前記有利状態と、前記

通常状態および前記有利状態とは異なる特定状態において、前記第 2 経路を遊技媒体が流下した方が前記第 1 経路を遊技媒体が流下したときよりも遊技者にとって有利な状態に制御する状態制御手段と、前記第 2 経路への遊技媒体の打込みを促進させることが可能な促進報知を行なう促進報知手段とを備え、前記促進報知手段は、前記有利状態において前記促進報知を行なうとともに、当該有利状態の終了後に実行される変動表示が前記特定状態に制御可能な表示結果となる変動表示であるときには当該有利状態が終了したときから前記促進報知を行ない、前記促進報知手段が前記促進報知を行なうことに関連して、当該促進報知を実行していることを特定可能な特定信号を作成する特定信号作成手段をさらに備える遊技機。

( 1 ) 遊技媒体 ( 遊技球等 ) を発射して遊技領域 ( 遊技領域 7 等 ) に打込むことにより、変動表示 ( 第 1 特別図柄および第 2 特別図柄の変動表示、演出図柄の変動表示等 ) を用いる遊技が実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態 ( 大当り遊技状態等 ) に制御可能な遊技機 ( パチンコ遊技機 1 等 ) において、前記遊技領域は、遊技媒体が流下可能な経路として、遊技媒体の打分けが可能な第 1 経路 ( 第 1 経路、左経路等 ) と第 2 経路 ( 第 2 経路、右経路等 ) とを含み、少なくとも通常状態 ( 低ベース状態 ) においては前記第 1 経路を遊技媒体が流下した方が有利に構成され ( 低ベース状態では、第 1 始動入賞口 1 3 が第 1 経路から入賞可能に設けられているので、第 1 経路を遊技球が流下した方が、第 2 経路を遊技球が流下するよりも、始動入賞の点で遊技者にとって有利である等 ) 、少なくとも前記有利状態と、前記通常状態および前記有利状態とは異なる特定状態 ( 小当り遊技状態等 ) において、前記第 2 経路を遊技媒体が流下した方が前記第 1 経路を遊技媒体が流下したときよりも遊技者にとって有利な状態に制御する ( 特別可変入賞球装置 2 0 を開状態にする、V 判定入賞装置 8 7 を開状態にする等 ) 状態制御手段 ( 遊技制御用マイクロコンピュータ 5 6 0、図 9 の S 3 0 5 ~ S 3 0 7、S 3 0 8 ~ S 3 1 0 等 ) と、前記第 2 経路への遊技媒体の打込みを促進させることが可能な促進報知 ( 右打ち促進報知 ) を行なう促進報知手段 ( 演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0、図 1 8 の S 5 0 0、図 2 0 の S 5 0 6、S 5 1 0、S 5 2 2、S 5 3 2 等 ) とを備え、前記促進報知手段は、前記有利状態において前記促進報知を行なう ( 図 2 0 の S 5 1 0、図 1 9 ( B ) ) とともに、当該有利状態の終了後に実行される変動表示が前記特定状態に制御可能な表示結果となる変動表示であるときには当該有利状態の終了後の状態が前記通常状態であったとしても、変動開始時においても前記促進報知を行ない ( 図 2 0 の S 5 2 2、図 1 9 ( B ) )、前記促進報知手段が前記促進報知を行なうことに関連して、当該促進報知を実行していることを特定可能な特定信号を作成する特定信号作成手段をさらに備え、前記促進報知手段は、前記有利状態において前記促進報知を行なうとともに、当該有利状態の終了後に実行される変動表示が前記特定状態に制御可能な表示結果となる変動表示であるときには当該有利状態の終了後の状態が前記通常状態であったとしても、変動開始時においても前記促進報知を行なう。( 第 6 実施形態 )。